

日本動物学会・首都大学東京

いきものを見て・さわって・学ぼう！「動物学ひろば」 公開シンポジウム 「海は生命のふるさと」 開催のご案内

首都大学東京南大沢キャンパスで開催される第59回日本動物学会関東支部大会(*)において、「動物学ひろば」及び公開シンポジウム「海は生命のふるさと」を一般公開します。「動物学ひろば」では、動物学・生命科学の研究で活躍している動物や生き物をたくさん展示・公開して研究の内容をご紹介しますほか、動物とのふれあいも楽しむことができます(**)。また、公開シンポジウムでは海産動物の研究者から海と生命をテーマにした興味深いお話をさせていただきます。子供から大人までが楽しめるイベントです。多くの方のご参加をお待ちしております。

(*) 実行委員長 首都大学東京理工学研究科 八杉貞雄教授

(**)「動物学ひろば」は、『文部科学省補助事業「魅力ある大学院」イニシアティブ』の支援により首都大生命科学専攻の大学院生が中心となって企画しています。

○開催日 平成19年3月24日(土)

【動物学ひろば】 12:00~16:30

場 所 首都大学東京南大沢キャンパス 12号館1階

<展示の一例>

- ・アメフラシ、ホヤ、ショウジョウバエなど最先端の研究で活躍する生物たち
- ・東京、八王子、キャンパスの自然、動物たち
(大学院生が中心になって進めた調査活動報告、ハンドブック配布)
- ・東京湾から伊豆諸島、小笠原までの東京の海に関する展示
(東京都水産海洋研究推進プロジェクトによる、「伊豆諸島の磯焼けの原因究明と予測、対策」)
- ・東京都奥多摩おさかな養殖センターからの大型ヤマメ
- ・水族館からペンギンの他、珍しい魚たち、動物に触れられるタッチプール
- ・海洋研究機構から有人潜水探査船・しんかい6500の模型、深海生物、鯨の骨など
- ・オオグソクムシ、ユノハナガニなど生きた深海生物たち

【公開シンポジウム】 16:30~18:00

場 所 首都大学東京南大沢キャンパス 12号館2階201室

<テーマ・講演者>

- 「ウナギ:大回遊の謎」塚本勝巳(東京大学・海洋研究所)
- 「海底に沈んだ鯨が育む生命」藤原義弘(海洋研究開発機構)
- 「ホヤー私たちの祖先ーの形づくりと遺伝子」西駕秀俊(首都大学東京)

○入場料 無料、事前申込み不要(シンポジウムは先着200名・車椅子席2席)

○ホームページ <http://iage.biol.metro-u.ac.jp/zoolkantou59/> もご覧ください

問い合わせ先

首都大学東京 大学院理工学研究科生命科学専攻

(電話) 042-677-2578

動物学ひろば

2007年3月24日 (土)
12:00~16:30 (一部14:30終了)
入場自由 (無料)

※事前の参加申込は必要ありません

◎首都大学東京 (東京都立大学)
南大沢キャンパス 12号館
・京王相模原線「南大沢」駅より徒歩10分

いきものを見て・さわって・学ぼう!
新しい発見がいっぱいの「ひろば」へようこそ!!

同日開催

公開シンポジウム「海は生命のふるさと」

16:30~18:00 参加無料・予約不要

「ウナギ:大回遊の謎」

塚本 勝巳(東大・海洋研)

「海底に沈んだ鯨が育む生命」

藤原 義弘(JAMSTEC)

「ホヤ-私たちの祖先の
形づくりと遺伝子」

西駕 秀俊(首都大・理工学研究科)

いきものを見てみよう、さわってみよう!

水族館や生物学の研究で活躍している、
普段は出会えないような生物が一堂集結!
協力: 横浜八景島シーパラダイス アクアミュージアム

未知なる世界、深海に迫る!

有人潜水調査船「しんかい6500」等の模型、
生きたユ/ハナガニや本物のクジラの骨が登場!
深海の魅力が盛りだくさん!
協賛: 独立行政法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)

最先端の生物学研究をわかりやすくご紹介!

生物学のいろいろな実験を体験!

意外と知らない!!? 東京都の豊かな自然

- ・首都大南大沢キャンパスの森
- ・奥多摩ヤマメって知ってる!?
- ・伊豆諸島の山と海
- ・いま、私たちが伝える小笠原

企画: 首都大学東京(東京都立大学)大学院 生物科学・生命科学専攻
「動物学ひろば」アウトリーチ実行委員会
支援: 「異分野交流を核とする独創的思考回路の構築」
(文部科学省 補助事業「魅力ある大学院教育」イニシアティブ)

水族館から
ペンギンも
遊びに来るよ!